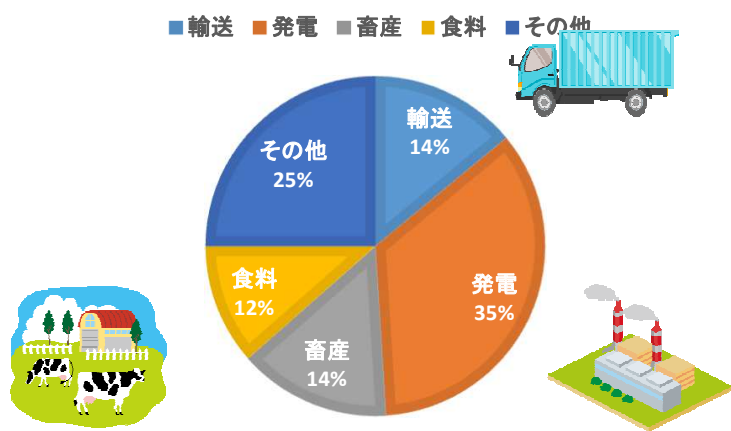


11月のTLG

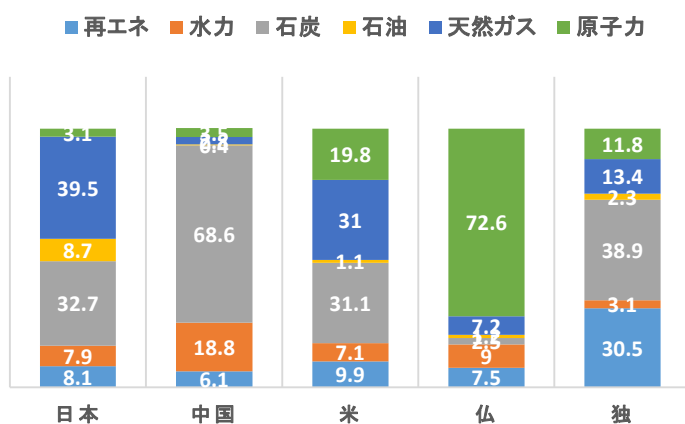
11月は環境についての世界会議が開かれました COP26(第26回国連気候変動枠組み条約締結国会議)

温暖化ガス削減の国際的枠組み「パリ協定」の達成へ2030年目標を実現する道筋をつける会議です。地球の温度上昇を産業革命前より1.5℃以内に抑える努力目標を実現するには、世界で2010年比で温暖化ガスを45%削減する必要があります。今回は、英国グラスゴーで各国首脳がこの案件について議論しました。発足したての岸田首相も0泊2日の強行軍で会議に参加して「アジアに1.1兆円の追加支援」を表明しました。

日本におけるセクター別温室効果ガス排出量



各国のエネルギーの使用比率 (%)



左の図は日本の温暖化ガスの発生源を示していますが、畜産が14%と結構多いのが驚きです。輸送による温暖化ガス排出量と同じ割合です。一方右の図は各国の電力エネルギー源を示していますが、お国柄がよく表れています。中国は石炭火力発電が72.6%と抜きん出て多く、世界最大の温暖化ガス排出国です。今回の会議に習近平氏が参加しなかったのもうなづけます。中国はCOP26の期間に合わせて電力制限を始めました。温暖化ガスを出さないということがどういうことなのかを実際に示したのですが、マグネシウムやシリコンなどの金属やレアアースが一気に価格高騰を起し、私たちの活動に大きな影響を与えています。

一方で、英国政府は2030年までにエンジン車の販売を禁止すると発表しました。EV(電気自動車)のみ製造販売が認められるのです。ガソリン車をなくして温暖化ガスの排出をなくするという取り組みで、この動きは世界に広がっています。確かにそれはいいのですが、上のグラフでもわかるように、化石燃料での発電に頼ってはいくらEVでも温暖化ガスをいっぱい出した電気で走っていたのでは、本末転倒です。「EVは温暖化ガスをなくす」という事は、そのエネルギーから温暖化ガス削減をしていかないと効果がないという事です。

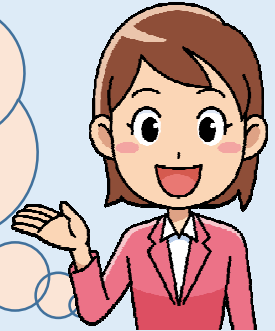
TLG(TAIKIUSAとLuminus)は自動車産業に携わる企業として、この問題を正面から受け止め最適解を出すように挑戦を続けます。現在「エコアクション21」活動を通じて会社として温暖化防止を進めていますが、その活動をより活発にしていき事業の成長と温暖化防止という一見矛盾した難しい課題に取り組みます。今月11月と12月はこの温暖化防止と企業の成長をテーマに考えていきます。



広域防災公園(そなエリア)を見学してきました



秋本です。先週防災公園に行ってきました！
 国営の公園で、お台場にあるんです！最近地震が多いからね...



ここでは防災体験シミュレーション「東京直下72時間」が体験できます。施設内に地震によって壊れた街並みが再現されており、その中を通りながら避難所まで移動します。10年前の東日本大震災の時は私は4時間歩きましたので、思い出してちょっと怖かったです。タブレットの貸し出しもあり、そこから出されるクイズに答えながら防災について学びます。小学生を対象にしたものですが、しっかり学ぶことができました。私はルミナスでの防災大臣ですので皆さんの模範になるように勉強をしてきました。

国の施設だから立派な建物で地震の時の避難所にもなります。



地震直後の生々しい状況下で避難訓練を行いました。会社の防災訓練に活かしたいと思います。

